

令和4年度 磐田市立向陽中学校 学校評価書

※A:十分満足 B:おおむね満足 C:もう少し努力すべき D:大いに努力が必要

学 府	重点	目標・取組	評価指標	自己 評価	考察・改善策（数値は、R2⇒R3⇒R4の経年変化）	学校関係者評価
夢をもち、共に輝き、『あい』が あふれる児童・生徒	【寛容さ】	自他を大切にし、豊かな人間関係を築こうとする生徒の育成	・A:進んであいさつをしている【97%】	A	【考察】 A:進んであいさつをしている 生徒(96.0⇒95.9⇒95) 保護者:(90.2⇒92.4⇒88.8) 教師:(100⇒100⇒100) 学校関係者:(81.8⇒92.0⇒100) B:学級はルールを守り協力する雰囲気がある 生徒:(94.0⇒97.4⇒94) 保護者:(96.1⇒94.7⇒94.7) 教師:(100⇒81.8⇒87.5) Aについて、今回は生徒・保護者ともに目標値を若干下回った。地域の方々からは、元気なあいさつができていますと評価いただいた。校内では目標を達成できていると判断する。Bについては、生徒・保護者共に目標値と同等である。 【改善】 あいさつは向陽中自慢の伝統の一つなので、あいさつができる雰囲気づくりに努めたい。生徒相互、生徒と教師のつながりを基盤に学年・学級の集団づくりに努め、ルールを守り協力し合う雰囲気を高めたい。	◆【御意見】 ・下校時(自転車通学の生徒)話をしながら運転しているが最近では暗くなるのが早いから交通安全に注意してほしい。 ・朝の登校の様子を見ると、元気よくあいさつしてくれる生徒がいる。 ・部活動や学校行事などにも、素直に爽やかに、一生懸命取り組んでいると思う。 ・ほとんど変わらないメンバーで9年間学校生活は続く。一度人間関係が崩れると、なかなか難しいこともある。一体校になるにあたり、そういった面からの配慮もしていただきたい。 ・生徒はよくあいさつが来ていると思う。 ・男女仲良く、協力し合っている。 ・元気よくあいさつが来ている。大人から大きなあいさつができる地域にしていきたい。 ・先生方の学級づくり、雰囲気づくりにより、子供達も楽しい学校生活を送ることができている。
			・B:私たちの学級はルールを守り、協力する雰囲気がある【95%】	A		
	【自立さ】	ねばり強くやり遂げたり、困難や変化に自ら適応したりする生徒の育成	・C:積極的に自分の考えを伝えている【70%】	B	【考察】 C:積極的に自分の考えを伝えている 生徒:(69.8⇒62.7⇒68.0) 教師:(69.2⇒91.7⇒61) D:進んで先生に聞いたり自分で調べたりして学習する 生徒:(70.1⇒69.4⇒70) 保護者:(63.0⇒64.1⇒78.7) C・D共に、目標値に近い結果となっている。Cについては、教職員の評価が低かった。 【改善】 各教科の授業では、ペアや小集団で学び合う時間を意図的に設け、その中で自分の考えを伝える場を与えているが、「自分の言葉で表現する」という面では、もう少し鍛えたいという願いがある。研修等を充実させて授業改善し、また、学級活動や総合学習など、生徒が前に立って意見を述べる機会をつくり、自信をもって自分の考えを伝えられるように励ましていきたい。	◆【御意見】 ・「積極的に自分の意見を伝えている」の評価が、生徒、保護者、教師ともに低い。最近の子供たちに元気があるのか気になる。自分の考えを述べる場やスキルを身につけてほしい。 ・交流センターに「学習室」がある。利用者が少ないようなので、学校でさらに周知してほしい。自主的に学ぶことに繋がるし、自主性が育まれると思う。 ・交流センターの「学習室」はいつでも気軽に利用してほしい。(3地区より) ・「強さ」「こころざし」の部分が、生徒のアンケート結果により評価が低い。重点的に取り組む必要があり、目標設定がほしいのではないかと。 ・評価が低いのは地域の特徴のようであるが、岩田小では全校の場での発言の機会を与えたことで、発表に自信をもってきていると伺っている。
			・D:進んで先生に聞いたり自分で調べたりして学習する【75%】	B		
	【創造さ】	より良い生き方や社会を切り拓こうとするこころざしをもった生徒の育成	・E:行事や課外活動に積極的に参加している【90%】	A	【考察】 E:行事や課外活動に積極的に参加している 生徒:(89.2⇒90.2⇒86) 保護者:(6.9⇒78.8⇒91.1) 教師:(61.5⇒75.0⇒100) F:将来の夢や目標をもっている 生徒:(70.0⇒69.9⇒73.1) 保護者:(69.8⇒68.2⇒70.7) 教師:(53.8⇒66.7⇒100) Eについては、保護者・教師の評価は目標値を上回った。コロナの状況も少しずつ改善されているので、部活動や各行事が通常実施に戻ってきている。 【改善】 感染症予防が定着し、様々な方法で生徒たちが体験を通して学べるよう、活躍の場を創ることに努めていきたい。また、子ども達が将来の夢や目標に向かって努力し、成長できるよう、キャリア教育にも力を入れていきたい。	◆【御意見】 ・学府一体校開校に向け、学府で育てたい子供像を明確にし、最新の情報で学府の指標を設定してほしい。 ・「将来の夢を語る」、「目標をもってやる」は、子供だけではなかなか難しい。教師が、偉人等を取り上げる等して、色んな情報を得たり学ぶ機会を与えたりしてほしい。 ・生徒と教師の差が大きい。さらなる努力が必要に感じる。 ・夢、こころざしについては、重点的に指導してほしい。 ・校内に限定せず、個々の小さな表れ・頑張りを捉え、どの子ども自己の高まりに生かされたらと願います。
			・F:将来の夢や目標をもっている(生徒)【80%】	B		
居がい・生きがいを感じる	人間性や指導力向上を目指す頼もしい教職員集団の形成	・G:先生は子供のことを理解して指導にあたっている【85%】	A	【考察】 G:先生は子供のことを理解して指導にあたっている 保護者:(91.7⇒90.6⇒91.7) 深い子ども理解に努めている 教師:(100⇒100⇒87.5) H:教育公務員としての資質向上に努めている 教師:(100⇒100⇒100) Gについては、保護者・教師ともに、目標値を上回っている。今後も、一層深い子ども理解に努め、教育活動に取り組みたい。 Hについては、過去5年間100%を続けている。職員一人一人の意識に加え、職員間でよく話をするなど、人間関係が充実していると思う。今後も、報・連・相を大切にし、教職員にとっても働きやすい環境、やりがいを感じる職場づくりに努めたい。	◆【御意見】 ・「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」のアンケートで、「あてはまる」に回答した生徒が8割もいる。ある意味、子供は先生達を頼りにしていることがうかがえる。先生達も、子ども達一人一人を大事にした、個に応じた指導をしてほしい。 ・G、Hともに、良好であると思う。 ・続けて、子供に寄り添い、仲間と触れ合う中で、切磋琢磨できる学校、指導をお願いします。	
		・H:教育公務員としての資質向上に努めている【100%】	A			
	保護者・地域との温かなつながり、地域とともにある学校づくりの推進	・I:地域の活動に積極的に参加しようとしている【75%】	B	【考察】 I:自分が地域の活動に積極的に参加しようとしている 生徒:(73.8⇒77.2⇒80.6) 子どもが地域の活動に積極的に参加しようとしている 保護者:(61.7⇒55.9⇒59.8) 生徒たちは、地域の人々と、学校や地域で関わっている 教師:(84.6⇒91.7⇒74) J:学校の様子等の情報公開が進んでいる 学校関係者:(R3 77⇒R4 90) 保護者:(R4 85) Iについては、55.9%という結果で大きく下回った。 Jについては、学校関係者のみにアンケートを行い、結果は77%であった。 【改善】 積極的に地域の活動(防災訓練、清掃活動、ボランティア活動等)に参加することで、地域への関心を高め、「向陽っていいな」と郷土を愛する生徒を増やしていきたいと考える。また、学校の様子を積極的に、保護者や地域の皆様発信するよう努めたい。	◆【御意見】 ・地域の活動には積極的に参加している。 ・地域のボランティアに参加してくれた中学生たちの気持ち、笑顔、行動全てに、こちらが感謝と幸せな気持ちをもりました。今後コロナと共に活動していく中、地域行事、企画等で子どもたちに関わっていただけると幸いです。 ・朝、交流センター入り口で旗振りボランティアをやっています。自転車通学の中学生に元気にあいさつをもらい、気持ちいい一日のスタートがきれいです。 ・地域も学校も生徒さんが参加しやすい体制をお互いに整えていくことで、充実していくと思います。一歩通行では思うように進みませんが、双方をお互いに考えていくことが大切なのではないかと。 ・地域の者として学校の活動や様子を知る手立てとしてHPを見ているが、昨年度と比べ学校の様子が載っているものが少なく、知ることができないため残念です。地域の方や小学校の保護者の方々からもそのような声を聞きました。(特に小6保護者は中学でどういう活動をしているのかをできるだけ知り、進学の参考にもしたいようでした) ・コロナ禍、学校が少し遠く感じています。民生委員の体育大会参加は楽しみにもなりました。再開を期待します。	
・J:学校の様子等の情報公開が進んでいる【80%】	A					

学校関係者評価を受けてのまとめ

- 気持ちの良いあいさつができていますという声をいただいた。校内だけでなく、登下校中や地域でも、気持ちのよいあいさつができるようにしていきたい。
 - 少しずつコロナ禍の制限も緩和され、今年度は地域の活動に積極的に参加する子が増えた。地域の方から写真や情報を提供していただき、生き生きと活躍する生徒の様子を知ることができた。今後も、地域の方々と連携し、地域行事等の情報を共有し、子どもたちが参加するきっかけづくりに努めていきたい。それと同時に、ボランティア活動に参加した生徒を賞賛するなどして、決まった生徒だけでなく多くの生徒が地域に関わっていけるような仕掛けを考えていきたい。
 - △「積極的に自分の考えを伝えている」に関して、生徒・保護者の評価が目標値を下回っている。授業はもちろんのこと、道徳や行事、集会等、自分の考えを発表したり伝え合ったりする機会を増やし、自己表現することへの自信や有用感、達成感を持たせたい。
- 【課題】
- ・思いやりのある生徒、目標に向かって粘り強くやり遂げる生徒、こころざしを持って自己実現に努める生徒の育成を目指し、日本一優しさあふれる学校づくりに努める。
 - ・指標は実態に応じて設定し、よい傾向にあるものは伸ばしてきていない部分を強化する取組をしていく。また、評価指標(学府・学校)は、実態に応じて変えていく、学校評価書と連動させる。
 - ・学校としての重要度、生徒の満足度の差(過不足)の対策を講じていく必要がある。